

後期博士課程

【開講年度・学期】 2017年度・通年集中
【科目名】 後期特別研究
【英語表記】 Advanced Studies for Doctor's Course
【科目ナンバリング】 HDASD8601
【担当教員】 指導教員
【授業形態】 通年
【単位数】 10単位
【当学科・コース学生以外の受講】 不可

【科目の主題】

博士学位論文の研究課題遂行のための基礎となる理論、実験について体系的な知識・技術の修得と研究成果のまとめを目的とする。

【授業の到達目標】

主題を理解し、実践する際に応用可能な知識、スキルとして定着させる

【授業内容・授業計画】

院生それぞれに対し、研究分野に関連する学術論文の精読、研究課題の設定、研究計画の立案、実験指導等を行い、博士学位論文の完成に導く。あわせて「ゼミ形式」により各専門分野に関わる最新の研究成果の理解、把握を徹底させる。研究成果の学会発表、学術論文誌への原稿作成・投稿についても指導する。

1. 研究分野に関連する学術論文の精読
2. 研究課題の設定
3. 研究計画の立案
4. 研究実験
5. 研究成果の発表

【事前・事後学習の内容】

毎回の授業で指示する

【評価方法】

博士論文の内容、公聴会での研究発表を通して総合的に評価する。

【教材】

【受講生へのコメント】

居住環境学コース

【開講年度・学期】 2017年度・通年集中
【科目名】 後期特別研究
【英語表記】 Advanced Studies for Doctor's Course
【科目ナンバリング】 HEASD8601
【担当教員】 指導教員
【授業形態】 通年
【単位数】 10単位
【当学科・コース学生以外の受講】 不可

【科目の主題】

1年次は関連分野の研究成果を系統的に再整理し、学位論文の構成について検討する。また、はじめの副論文の作成を計画し、学会誌などへの投稿を計画する。2年次は学会誌などへの副論文の投稿を進め、学位論文作成の計画を具体化する。これらの過程を通して、研究の発展過程や学术论文の倫理性、実証性を学ぶ。3年次は投稿した副論文などを主要構成要素として、学位論文の作成を行う。

【授業の到達目標】

博士論文の研究課題遂行のための基礎となる理論、調査、実験などの研究方法や分析方法についての体系的な知識・技術の修得、および研究者としての能力を高めることを目的とする。

【授業内容・授業計画】

1. 研究方法、関連する知識・技術の修得
2. 研究計画の立案
3. 実験・調査等の実施と解析
4. 副論文の作成と投稿
5. 博士論文の作成

【事前・事後学習の内容】

配布資料を講義までに読んでおくこと。講義終了後は復習すること。

【評価方法】

日々の研究の進捗状況、副論文の内容、博士論文の内容、公聴会でのプレゼンテーション等を通して総合的に評価する。

【教材】

【受講生へのコメント】

総合福祉科学コース

【開講年度・学期】 2017年度・通年集中
【科目名】 後期特別研究
【英語表記】 Advanced Studies for Doctor's Course
【科目ナンバリング】 HFASD8601
【担当教員】 指導教員
【授業形態】 通年
【単位数】 10単位
【当学科・コース学生以外の受講】 不可

【科目の主題】

博士学位論文の作成を指導する。1年次は、これまでの研究成果をふまえて系統的発展を促し、研究課題を設定する。研究課題に関する文献収集と講読を行い、関連する調査等を含め、博士論文の中核となる認定論文の作成を計画立てる。

2年次は、計画に基づいて研究を継続し、学会発表や学会誌等への投稿に向けた指導を計画的に行う。

3年次は、博士申請論文の具体的な執筆に向け取り組む。継続的な指導により、博士論文の完成を目指す。

【授業の到達目標】

博士論文の作成に必要な知識と執筆能力を習得する。

【授業内容・授業計画】

1. 研究課題の明確化
2. 論文作成計画
3. 学会発表や学会誌への投稿に向けた取り組み
- 4～15. 博士論文の執筆に向けた指導

【事前・事後学習の内容】

各講義の最後に各自が取り組むべき事後学習と事前学習の内容について指導する。

【評価方法】

博士論文の内容、公聴会での研究発表を通して総合的に評価する。

【受講生へのコメント】

博士論文の申請には、学術雑誌等への論文掲載が条件となる。したがって、学生自らが学会発表や学会誌への投稿など積極的な研究姿勢をもち、自らの学術的能力を高めるべく自己研鑽に努めることが大切である。

臨床心理学コース

【開講年度・学期】 2017年度・通年集中
【科目名】 後期特別研究
【英語表記】 Advanced Studies for Doctor's Course
【科目ナンバリング】 HGASD8601
【担当教員】 指導教員
【授業形態】
【単位数】 10単位
【当学科・コース学生以外の受講】 不可

【科目の主題】

博士論文作成のための理論的、技法的指導を系統的に行う。指導内容は、理論的展望によるオリジナルなテーマの選定、調査法の精緻化、実証データの演繹と独自の理論化となる。

1年次～2年次には、主に先行研究の展望を徹底的に行い、独自のテーマを設定していく。このテーマに関して、妥当な方法論の研究を行い、1年次後半にパイロットスタディを終了し、方法論の修正・検討を加える。修士論文で執筆した内容およびそれを進展させたものを学会で発表したり学会誌へ投稿したりする。その際、指導教員から入念な指導を仰ぐ。

3年次には、前述した論文および研究資料から演繹した独自の理論をもとに学会発表と学会誌への投稿に専念する。先行文献との関連から独自性を再評価し、科学的なオリジナリティを有する論文として章立て、内容に関する指導を行う。こうした課題を達成していくプロセスにおいて博士論文の完成を目指す。

【授業の到達目標】

最終の到達目標は学位論文の提出であるが、それに到る目標は専門学会誌等における（レフり付きの）学術論文の投稿と掲載である。学術論文作成の目安は、3～4本である。

【授業内容・授業計画】

1. 研究課題の明確化
2. 論文作成計画の精緻化
3. 学会発表の準備と実施
4. 大学・研究所紀要や専門学会誌への投稿準備と実施
5. 学会誌への掲載論文を中心とする博士論文の全体構成

【事前・事後学習の内容】

学会論文については査読委員会からの評価があるので、その評価に基づいて論文の形式・内容について事後学習が不可欠となる。それは同時に、学位論文に向けての事前学習となる。

【評価方法】

博士論文、博士論文審査会でのプレゼンテーション、学位論文の公聴会をもって評価する。

【教材】

【受講生へのコメント】

博士論文の申請には、専門学会誌への掲載が必須条件となる。そのため、日頃、真摯に研究に取り組み、一本でも多く、専門学会での発表を行えるように心がけて頂きたい。